

ULT通信

2019. 1. 16号 / vol. 88 発行 / ULT 図書館司書

2019年が始まりましたね。始まったと思ったら、行事や試験などであっという間に終わってしまう3学期。慌ただしい毎日ですが、そんな時こそULTで一休みしてみませんか？

生誕、没後〇〇年の作家を紹介！

2019年 節目の作家特集



生誕 110年

太宰治

1909.6.19-1948.6.13

主な作品『人間失格』
『走れメロス』など



生誕 160年

アーサー・コナン・ドイル

1859.5.22-1930.7.7

「シャーロック・ホームズ」の
生みの親。



生誕 120年

川端康成

1899.6.14-1972.4.16

主な作品『雪国』
『伊豆の踊子』など



生誕 110年

松本清張

1909.12.21-1992.8.4

主な作品『点と線』
『砂の器』など



没後 60年

永井荷風

1879.12.3-1959.4.30

主な作品『あめりか物語』
『墨東綺譚』など



生誕 100年

J. D. サリンジャー

1919.1.1-2010.1.27

主な作品『ライ麦畑でつかまえて』
『ナイン・ストーリーズ』など



生誕 100年

やなせたかし

1919.2.6-2013.10.13

「アンパンマン」の
生みの親



生誕 90年

アンネ・フランク

1929.6.12-1945.2~3頃

『アンネの日記』の作者



番外編

～作家ではないが今年再注目の2人～

没後 500年

レオナルド・ダ・ヴィンチ

1452.4.15-1519.5.2

近代のヨーロッパ芸術に
多大な影響を与えた人物。



生誕 140年

アルベルト・アインシュタイン

1879.3.14-1955.4.18

ドイツ生まれのアメリカの
理論物理学者。



2019年にまつわる
ちょっとすごい話

大友克洋による近未来 SF 漫画『AKIRA』の作中の設定年が実は2019年。しかも、東京オリンピック開催を翌年に控えたネオ東京が舞台。偶然の一致にはできすぎているような…。海外でも人気の作品なので、オリンピックとのコラボに期待！



ULT NEWS

●浦学美術大賞展@ULT！

2月4日(月)～28日(木) ULTにて、アートコースの作品展が開催されます。

12月にさいたま市文化センターで展示した作品のうち、厳選された作品を

見ることができます。浦学の芸術家たちの力作をぜひご覧あれ！



*写真は過去の様子

新着案内

11・12月の新着は約120点です。一部抜粋で紹介します。

↓人気小説の新刊、話題の小説入りしました。



タイトル	著者	請求記号
下町ロケット ゴースト、ヤタガラス	池井戸潤	913.6-イケ-3.4
沈黙のパレード	東野圭吾	913.6-ヒカ
掟上今日子の乗車券	西尾維新	913.6-ニシ-11
ホーンテッド・キャンパス ⑤~⑬	榎木理宇	913.6-クシ-5~
火のないところに煙は	芦沢央	913.6-アシ

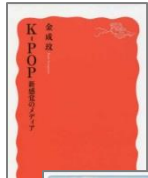
↓古典を楽しく理解しよう。

タイトル	著者	請求記号
こころきらきら枕草子 笑って恋して清少納言	木村耕一	914.3-セイ
こころに響く方丈記 鴨長明さんの弾き語り	木村耕一	914.4-カモ
こころ彩る徒然草 兼好さんと、お茶をいっつく	木村耕一	914.4-ヨシ



↓その他いろいろ。『極夜行』はノンフィクション大賞受賞で話題です。

タイトル	著者	請求記号
本の本 夢眠書店、はじめます	夢眠ねむ	024.1-ユメ
失敗図鑑 すごい人ほどダメだった!	大野正人	280-オオ
極夜行	角幡唯介	297.8-カク
台湾の若者を知りたい (岩波ジュニア新書)	水野俊平	302.224-ミス
MUJI式 世界で愛されるマーケティング: 無印良品	増田明子	673.7-マス
K-POP 新感覚のメディア (岩波新書 新赤版)	金成玫	767.8-キム
日本のヤバい女の子	はらだ有彩	910.2-ハラ



コラムdeレオ

第83回は笹木が担当です。テーマは「私が考えるドラマ化」。映像化されていない名作、キャスティング担当になったつもりで、とのことでした。

選んだ本は阿部智里著『^{からす}鳥に^{ひとえ}単は似合わない』。弱冠二十歳で松本清張賞を受賞した若手実力派作家による、長編ファンタジー「八咫鳥シリーズ」の第1巻です。

舞台は「山内」と呼ばれる、八咫鳥の支配する世界。ひとときわ高い中央の山には神が住まうとされ、山を穿って朝廷が置かれています。連なる山々には、岩肌が覗き、滝が流れ、その間を縫うように懸け造りの屋敷が築かれています。八咫鳥は普段は人間のような人形ですが、もともとは卵で生まれ、^{ちようけい}鳥形=鳥に姿を変えられる生き物。山間を鳥や鳥が引く飛車が行き交うさまが映像になったら、さぞかし壮観だろうと思うのです。和風ホグワーツのようなイメージ!

しかし選んだ理由はそれだけではありません。1巻のテーマは、山内を統べる王「金鳥」の後選び。四大貴族である東西南北それぞれの家からとびきりの美姫が選ばれ、四つ巴の“女の戦い”が繰り広げられます。タイプの異なる四人の姫を、今をときめく美人さんたちが演じるのをぜひ見たい!

東家の「あせび」は、病弱な深窓の姫君で、色素の薄い髪がふわふわとなびく美少女。今田美桜さんがぴったり! 南家の「^{はまゆ}浜木綿」は、背が高く目鼻立ちくっきり、堂々とした態度の中性的美女。森星さんの浜木綿が見てみたい! 西家「^{ますほ}真緒の^{すすき}薄」は、輝く髪に衣装も華やかに整え、美しさを自覚した気位の高い完璧系美人。中条あやみさんで! 北家「^{しらたま}白珠」は、抜けるような肌の白さ、切りそろえた細い黒髪が美しい、ほっそり小柄な少女。アイドルからYouTuberになった、新希咲乃さん! あの華奢さ、推せる! …4人がイメージに合っているかは、本を読んで確かめてみてください。

次回のテーマは、「美しい人」。読んだら忘れられない、美人が出てくる本を教えてください。